

研修旅行記録

実践女子大学 宮本 早紀

1. 鳥取

Day. 1 北栄町・倉吉市

Day. 2 岩美町

Day. 3 鳥取市

2. 愛知

Day. 1 豊田市

Day. 2 名古屋市

1. 鳥取

8月下旬、友人と2泊3日で鳥取県を訪れました。
羽田空港から飛行機で約1時間。飛行機からは鳥取砂丘と青く澄んだ海が見られました。
今回はレンタカーを借りて、鳥取県鳥取市を中心に北栄町、倉吉市、岩美町へ行きました。



Day. 1 鳥取空港～北栄町～倉吉市

▷鳥取空港（鳥取砂丘コナン空港）

鳥取空港は主に鳥取県の東部の空運を担っている空港で、定期旅客便は、国内線のみが発着しています。

建物は2階建てで、屋上には送迎デッキがあり、滑走路の様子を間近で感じることができました。

飛行機の時間に合わせて運航する連絡バスが出ていますが、車を利用する方が多いようで、広い駐車場があり、レンタカーサービスも充実していました。



↑小さな空港ですが、既存のターミナルの他に増築されたターミナルによって、空港内部は広々とした空間に感じられました。

鳥取県の観光地・鳥取砂丘と、鳥取県出身の漫画家・青山剛昌の漫画作品「名探偵コナン」にちなみ、鳥取砂丘コナン空港とも呼ばれ、空港のいたるところに名探偵コナンのイラストが使用されていました。



↑「名探偵コナン」のキャラクターの像や看板の他、床一面に描かれた『らくだとコナン』のトリックアートとともに写真を撮ることができました。また、グッズショップも充実していました。

▷北栄町 由良駅周辺

「名探偵コナン」の原作者、青山剛昌の出身である北栄町は、由良駅を中心に、名探偵コナンをイメージした建物やオブジェが多く並びます。空港からは車で約 50 分ほどで行く事ができます。



JR 由良駅

通称、コナン駅とも呼ばれています。駅を出たところには、大きなコナンの像や顔出しボードがあり、観光案内所にはここでしか買う事のできない名探偵コナンのグッズが並んでいました。



米花商店街

原作に登場する「喫茶ポアロ」をモチーフにした喫茶店や、地元の食材を使用したメニューが並ぶカフェ、グッズの専門店がありました。

駐車場には大きな謎解き迷路があるなど、ショップだけでなく、アトラクション感覚で楽しめる場所もありました。



また、お手洗いのマークが名探偵コナンをモチーフにしたものになっているなど、細かなところまでこだわりを感じるエリアでした。



↑工藤邸をモチーフにした門扉

↑Conan's Kitchen

の外観と内装。ここでお昼ご飯を食べました。



青山剛昌ふるさと館 入館料：大人/700円

道の駅大栄に隣接し開館した「名探偵コナン」の原作者である青山剛昌の資料館で、石像や原画展示の他、ゲームコーナーや AR アプリを利用した謎解き企画もありました。

展示や収蔵スペース不足のため、2027年には近くの広場へ移転し、新築オープンすることが決まっているそうです。



問題に挑戦し全問正解すると
↓認定証がもらえました！



↑展示の様子。壁一面に様々なシーンが散りばめられていました。 ↑床には見学順路を示すイラストが！

由良駅から、青山剛昌ふるさと館・米花商店街へ向かう道は「コナン通り」と呼ばれており、至るところに名探偵コナンのオブジェが並んでいました。町内にはブロンズオブジェとカラーオブジェが全部で30か所に設置されているそうです。今回は全てを見つけることができなかったので、次は全ての像を見つけて写真に収めたいです。



▷倉吉市役所本庁舎

倉吉市は鳥取県の中心部に位置しており、北栄町から倉吉市役所まではおよそ車で約30分ほどでした。

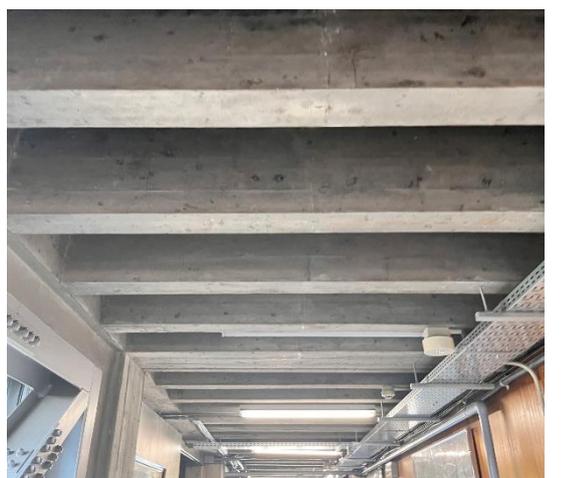
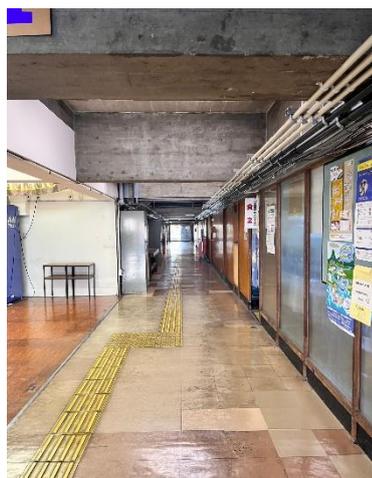
倉吉市役所は、丹下健三の設計により、1956年に建てられた、国の登録有形文化財に登録されている庁舎建築です。打吹城跡の麓、急な坂を登ったところに建てられていて、駐車場も坂になっているところが多く、平坦な場所が少ない印象を受けました。

建物自体は地上4階建てですが、コンクリート打ち放しの重厚な見た目から、写真より更に迫力を感じました。

建物には、ピロティや中庭もあり、コンクリートの重い印象の中にも開放的な空間が広がっていました。

階段は蹴り込み板のないオープン型が採用されていて、中庭からの日差しを遮らず、室内に光を入れていました。

ピロティの様子→



↑階段の様子（2F～3F）

↑1階の食堂前廊下の様子

↑天井の様子

▷倉吉パークスクエア・倉吉未来中心

倉吉市役所から車で約3分ほどのところにある多目的ホール（鳥取県立倉吉未来中心）、鳥取二十世紀梨記念館（通称なしっこ館）、交流施設、市立図書館、温水プール、公園などからなる複合施設で、シーザー・ペリの設計によって2000年に建てられました。

住宅街の中にあり、遠くから見てみるとそれほど大きな施設に感じなかったのですが、実際に倉吉未来中心の方へ入ってみると、開放的な大空間が広がっていました。また、トラス部分は鉄骨のみでできていると思いましたが、一部に木材が使用されており驚きました。

17時前に訪れたため、小さな子は少なかったのですが、多目的スペースでは勉強をする学生の姿が多くみられました。開館時間も8:00～22:00（倉吉未来中心）と長いことで学生も利用しやすい施設になっていると思いました。



↑大きな遊具のある広場。無料で遊ぶことができます。



倉吉未来中心の内部の様子。外から見るよりも大きく、広々とした空間であり、イベント等が開催されることも。



Day. 2 鳥取駅～岩美町

▷ホテルニューオータニ鳥取・鳥取大丸

1日目のうちに鳥取市内に戻り、鳥取駅周辺へ。鳥取駅のすぐ前にあるホテルニューオータニ鳥取へ宿泊しました。黒川紀章の設計で1975年に建てられました。地上13階・地下1階建てで、隣に建つ鳥取大丸（現在は丸由百貨店）と一体になった建物です。レンガのファサードが特徴的で、高級感あふれるロビーは緊張感がありました。



↑ロビーの様子

↑宿泊したツインルーム

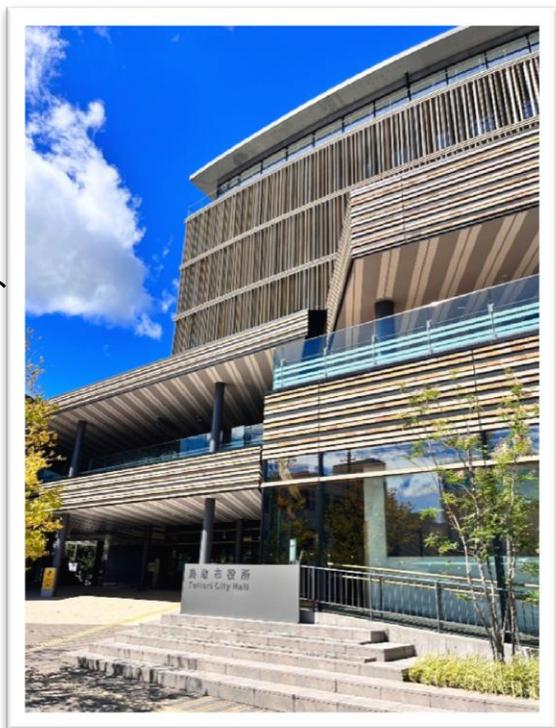
↑目の前の JR 鳥取駅

▷鳥取市役所

ホテルから木のファサードの美しい建物を発見し、訪れました。施工は2019年、市民や鳥取市を訪れる観光客の誰もが気軽に訪れ、くつろぐことができる屋外のオープンスペースとして、4つのにわ(オモテのにわ、トオりにわ、ナカのにわ、オクのにわ)を整備しています。

トオりにわに面して庁舎棟と市民交流の場である窓口カウンターや多目的スペース、コミュニティスタジオ、カフェなどが配置されており、平日の朝でしたが、多くの人が利用している様子でした。

この特徴的なファサードは鳥取砂丘の色をイメージしているそうです。高い建物の少ない市内にも圧迫感を感じず、街に馴染んだ庁舎となっていると思いました。



↑ホテルから見た庁舎



↑庁舎エントランスロビーの様子



↑トオりにわの様子

▷岩美町

鳥取駅周辺から車で20分ほど走り、岩美町を訪れました。鳥取県の最東北端に位置しており、鳥取砂丘にもほど近い、日本海に面した町です。2013年7月から放送が開始したTVアニメ「Free!」の主人公たちが暮らす町のモデルとしても知られ、観光協会をはじめ、飲食店でのポストカードの配布を行う等、町全体を盛り上げていました。高齢の方が多いですが、「どこから来たの?楽しんでいてね。」と声をかけて下さる方もいて、町の温かい雰囲気を感じました。



↑アニメに登場する「岩鷲駅」のモデルとなった岩美駅

TVアニメ「Free!」に登場する舞台



浦富海岸 島めぐり遊覧船 料金：大人/1500円

ユネスコ世界ジオパークに認定されている「山陰海岸ジオパーク」の一部である、山陰海岸国立公園を約40分かけてめぐる遊覧船。海がとても美しく、岩美ブルーとも呼ばれています。

間近に島々を感じられ、風を感じながら美しい景色を見ることができ、とても感動しました。



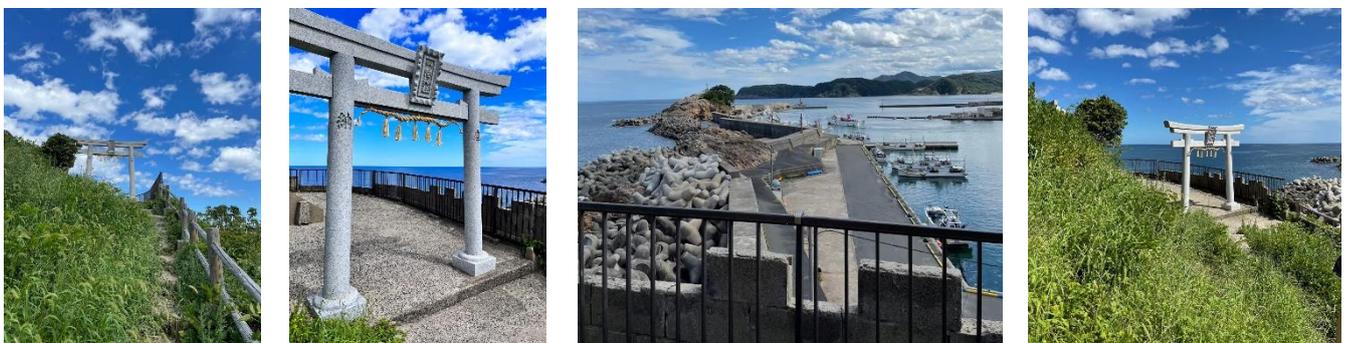
荒砂神社

浦富海水浴場近く、砂浜脇の岩場の上にある神社。向島には恵美須神社が祀られ漁師の人々の崇敬者が多いそうです。急な階段を上った先からは美しい海が眺められました。



港神社

田後港から細い階段を上った先に見える神社。港全体を見渡すことができました。



田後神社



港沿いの住宅街の中にある階段を上った先に鎮座する神社です。田後神社の脇の道を進むと展望台があり、その奥に港神社へ続く小道が続いています。





Day. 3 鳥取市鳥取砂丘周辺

▷鳥取砂丘

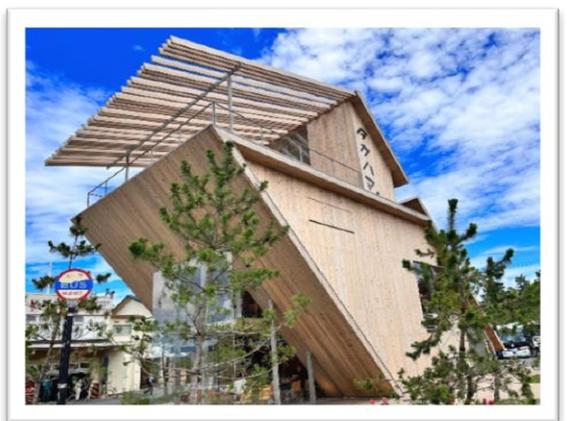
日本海海岸に広がる広大な海岸砂丘で、山陰海岸国立公園の特別保護地区に指定されています。南北2.4km、東西に16kmに広がります。時間の都合で入り口付近のまでしか行けませんでした。ただ、らくだがいったり、砂丘セグウェイ体験ができたりと、歩くだけではなく、様々なアクティビティが用意されており、次に行く機会があったら挑戦してみたいと思いました。



▷タカハマカフェ

鳥取砂丘の向かい、鳥取砂丘会館の隣に建てられた木目のファサードと特徴的な外観が印象的なカフェです。隈研吾の設計で、2022年に建てられた新しい建築です。

外階段か、室内に設置されたエレベーターで2階・3階のテラスへ上がることができます。テラスからは日本海と砂丘を一望することができます。2階砂丘に面した大きな窓にも席が設けられ、ゆっくり外の景色を眺めながらくつろぐことができます。



↑窓に面した特等席。ライトには砂丘の砂があしらわれていました。

↑屋上階からの景色

▷砂の美術館 入館料：大人/800円

「砂で世界旅行」をコンセプトとして、およそ1年に1度テーマを変えて砂像の展示が行われています。2022年～2023年絵のテーマは「砂で世界旅行・エジプト編」で、20作品の室内展示と2つの屋外展示がありました。

2階には砂像を間近でみることができるデッキが張られた空間が、3階にはショップと砂像を上から見る事ができるバルコニーが展示室の周りに存在しており、様々な角度から砂像を見学することができました。



▷仁風閣 入館料：大人/150円

仁風閣は旧鳥取上跡に建つ洋風建築で、明治40年ごろに建てられました。フレンチ・ルネッサンス様式を基調とした白亜の木造瓦葺2階建てで、非現実的な感覚を味わうことのできる建物でした。室内も高級感溢れた内装や家具がおかれ、緊張感がありました。内部・外部共に撮影などにも使用されることもあり、私が訪れた際も結婚式の写真撮影を行っている方がいました。

砂の美術館においてある「すなポン」というカタログについている割引券を使用すると120円引きで入場券を購入することができます！令和6年3月より、50年ぶりの大修理のため、令和10年何3月ごろまでは閉館になる予定となっており、開館中に訪れることができ良かったです。



支柱のない螺旋階段。ケヤキを彫った厚板で支えていますー

裏の鳥取城跡の石垣

登るのがとても大変でしたが、登った先では鳥取市内が一望できる圧巻の景色が広がっていました。曇っていて



少し雨も降りそうだったため、雲が多いですが、晴れている日ならもっと遠くまで美しい景色を見ることができそうです。

2. 愛知

9月上旬、土日を利用して愛知県にきました。

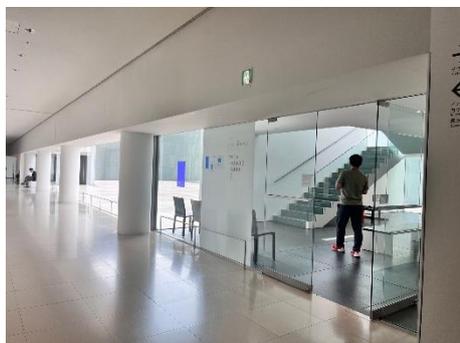
1泊2日で、電車やバスなど公共交通機関を利用することもあり、豊田市と名古屋市栄近辺と、エリアを限定して、様々な建築を見学しました。

Day. 1 豊田市

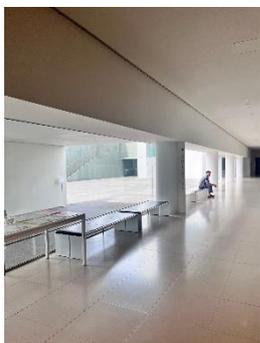
▷豊田市美術館

新幹線で豊橋駅へ、そこから名鉄に乗り、上拳母駅で下車。静かな住宅街で、美術館へ行くような人はおらず、不安になりながら歩くこと15分、地図では「目的地」と示されていますが、どこから入ればよいのかと迷いながらも進んで行くと、その先に何度も写真で見た美しい光景が広がりました。

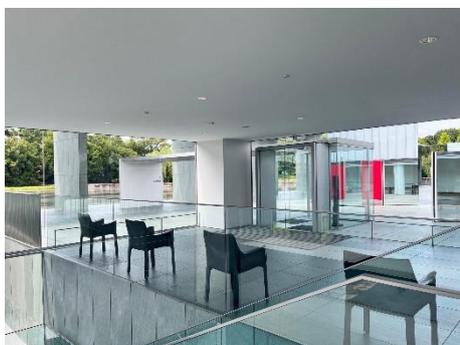
エントランスから内部へ進むとガラスで隔てられているにも関わらず、外と一体となったような空間に感じました。



↑エントランスからメインエントランスまでの通路



↑1階エントランス廊下の階段



↑1階エントランス廊下の階段を上ったテラス。外部は水や鏡の彫刻がある。



↑ 高橋節郎館の様子。

↑ 美術館正面の景色

▷ 豊田市逢妻交流館

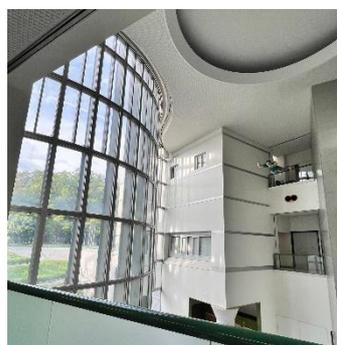
豊田市美術館からバスに乗り、宮上町まで。そこから徒歩15分。住宅街に建つコミュニティ公民館です。

ホールも、講義室も全て円形でできており、それらを柔らかい曲線がつないでいました。部屋をつなぐ空間はカーペットが敷かれており、子どもたちが狭い空間に入り込み、ゲームをしたりして遊んでいました。



▷ 名古屋市美術館

逢妻交流館からまたバス停に戻り、赤池駅へ向かいます。そこから電車に乗り伏見駅へ。これまでのゆったりとした街並みと異なり、賑やかなビル街を進むこと10分ほどで白川公園内にある名古屋市美術館に到着しました。受付時間に間に合わず、中に入ることはできませんでしたが、外観のアプローチ空間やサンクンガーデンを見ることができました。



↑ 同じ白川公園内の名古屋市科学館

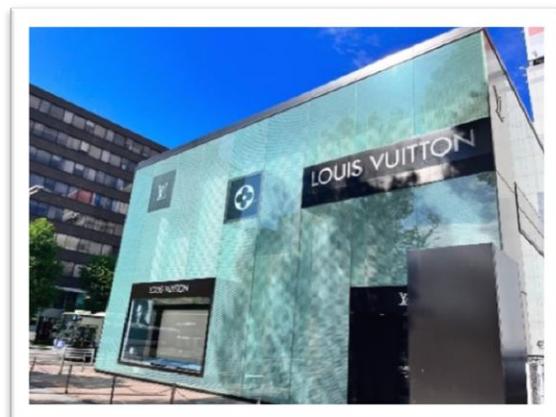
↑ エントランスの様子

↑ サンクンガーデンへのアプローチ

Day. 2 名古屋市 栄周辺

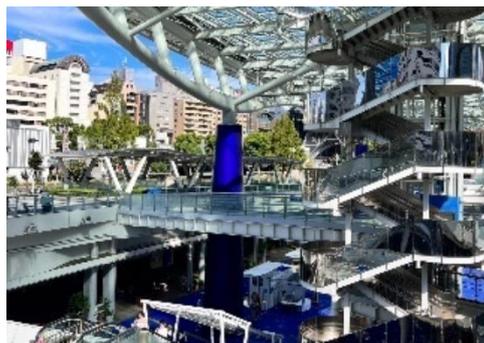
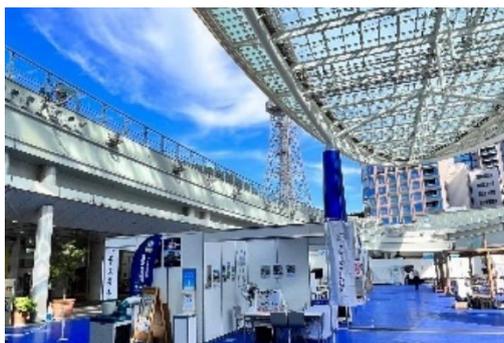
▷ルイ・ヴィトン 名古屋栄店

栄駅を出てすぐのところに建てられていました。
設計は青木淳。外壁のガラスにはルイ・ヴィトンの
ダミエラインの模様があしらわれていました。
ガラス張りの綺麗で高級感のある建物でした。



▷オアシス 21

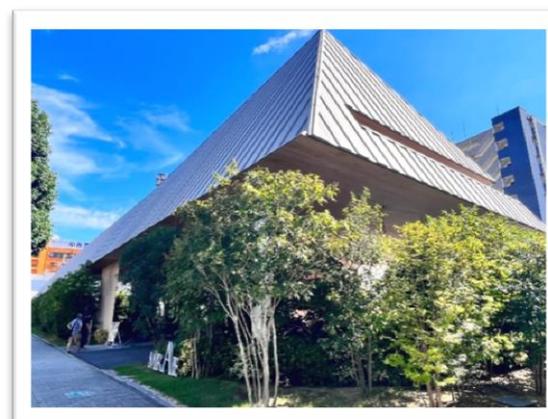
こちらも栄駅を出てすぐのところにあり、オアシス 21
という商業施設や公園が重層する複合施設です。名古屋
のビルが立ち並ぶ中、大迫力の大きなガラス屋根が特徴
的でした。このガラス屋根には水が張られているため、
真下では光に照らされた水の影が映し出され、涼しげな
印象を持ちました。



▷ミライエ レクストハウス ナゴヤ

東別院駅から徒歩約 10 分、大きな屋根に覆われた建物
です。2018 年、隈研吾の設計によって建てられました。

写真では外観だけでなく、内部空間も木材が使用され
たあたたかな空間が広がっていたため、中に入りたかった
のですが、結婚式の準備をされていたようで、かなわず残



念でした。外から見える内部空間もとても素敵でした。

▷熱田神宮

神宮前駅から徒歩5分ほどで境内に入り、3つの鳥居をくぐって本宮前にたどり着きます。大きく分厚い屋根のかかった社殿がとても美しいです。

境内にはお食事所があり、木陰でくつろぐこともでき、何時間でもいられる穏やかな空間でした。

神宮前駅に「きよめ餅総本家」という有名な和菓子屋があります。



▷マルエイギャラリー（丸栄）

村野藤吾の設計で建てられた丸栄百貨店の跡地に、2022年3月に新たに誕生した商業施設です。栄周辺の再開発事業として建てられました。地上3階建て、30店舗以上が入居しています。

オシャレな飲食店や、若者が集うお店が多く並び、休日であったこともあり、多くのお客さんで賑わっていました。



▷ナディアパーク

名古屋市中区栄の複合施設で、ショップの他、ホールやオフィスが入居しています。大きなLoftが入っていたようですが、閉店してしまっていました。

内部の近未来感のある大きな吹き抜けがとても印象的でとても迫力を感じました。

